

### 平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	安曇野の人と自然の魅力発信プロジェクト事業
事業主体 (連絡先)	信州安曇野ハーフマラソン実行委員会 事務局：安曇野市役所商工観光部観光交流促進課内
事業区分	産業振興、雇用拡大に関する事業／特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	11,000,473円 (うち支援金：5,000,000円)

#### 事業内容

「人と自然で安曇野流おもてなし」をコンセプトに実施した「第1回信州安曇野ハーフマラソン」開催にあたり、安曇野の観光資源と人々のぬくもりを核とした魅力を全国に発信するとともに、地域住民が積極的に大会に参加・応援することで、地域の活性化と一体感の醸成を目的とし、様々な取り組みを実施した。

昨年のプレ大会での反省をもとに、地域交通への影響が少なく、かつ安曇野の景観を楽しめるコースに変更するとともに、人の魅力発信として、多くの地域住民が沿道応援や運営ボランティア、食の振る舞いなどに参加し、ランナーに対する様々なおもてなしを実施した。



【地区のハッピーを来ての沿道応援】

#### 【目標・ねらい】

- ① 安曇野の様々な魅力発信による安曇野ファンの獲得
- ② 市民の主体的な参加による一体感の醸成
- ③ 地域経済発展への寄与

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 初夏の安曇野の美しい景観と、温かい沿道応援、市民ボランティアをはじめとするスタッフの笑顔での対応により、大会後のアンケートでは90%以上の方が「満足した」と回答し高評価を得た。
- ② 市内の様々な団体や個人が運営ボランティアに参加。また沿道応援にもたくさんの方が参加し、大会を盛り上げることができた。
- ③ ランナー特典として市内観光施設や入浴施設で使える割引券等を発行し、それらの施設への波及効果の増大を図った。また約5,000人のランナーの宿泊や食事などにより経済的な波及効果があった。

※自己評価【 A 】

【理由】  
本事業の核となる安曇野の「人」と「自然」の魅力と「おもてなし」によって、多くのランナーから高い評価を得ることができた。さらに、来年もまた参加したいというリピーターを獲得できたため。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

本事業の実施により、大会の認知度も増し、多くの地域住民が沿道応援やボランティアに参加した。そこで得たランナーからの高い評価を、広く地域住民へ周知していくことで、ここで高まった応援機運を第2回大会以降につなげていく。大会を定着化させることで、多くの住民や事業者が大会に主体的に関わる仕組みづくりを検討し、さらなる地域の活性化につなげていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある